

2023年のビワマス資源状況および2024年の漁獲状況

1. 2023年のビワマス資源状況

①資源量

琵琶湖海区漁業調整委員会事務局調べの採捕量を用い、コホート解析によって採捕対象となる1歳魚以上資源量を推定した。2023年のビワマスの資源尾数は25万尾、資源量は161トンと推定された。ビワマス資源は2019年以降高水準状態が継続しているが、2023年の資源量は2021年より減少した。

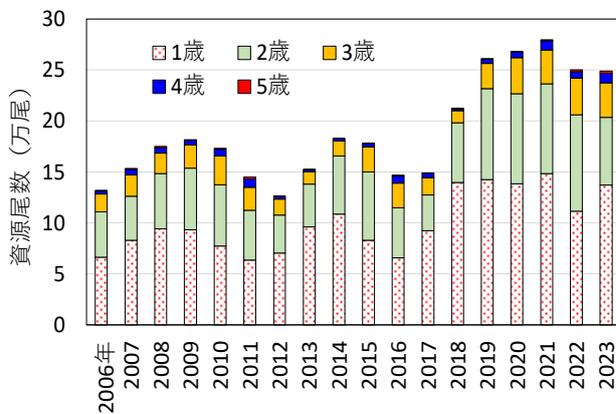


図1.ビワマス資源尾数

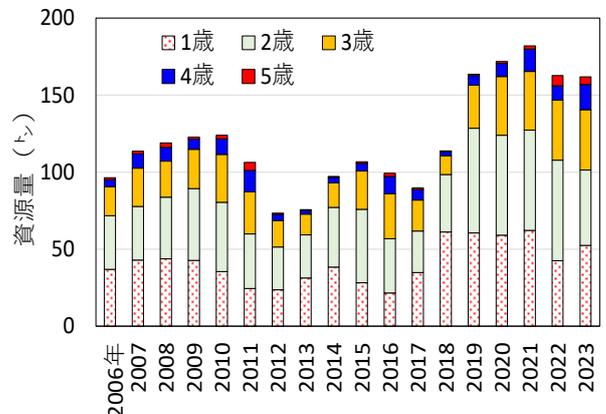


図2.ビワマス資源量

②資源状況の評価

神戸チャートにより資源状況进行评估したところ、2020年以降、漁獲率の比は1を下回り、かつ親魚量の比は1を上回った。そのため、近年では、漁獲圧は適正な状態であり、資源は安全な状態にあると考えられた。ただし、2022年以降、漁獲圧が上昇していることから注視が必要である。

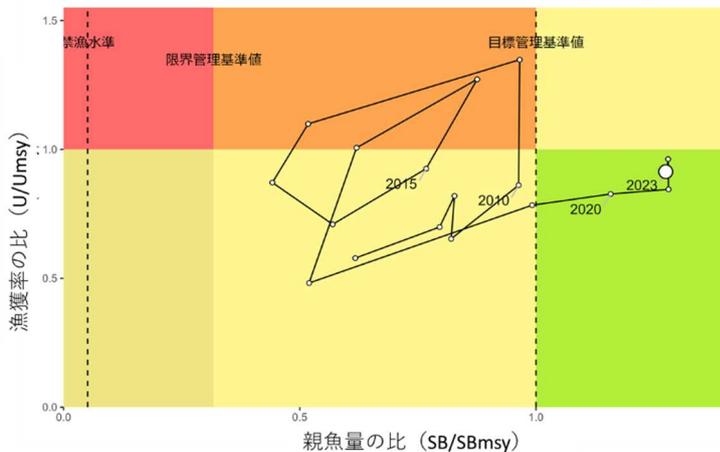


図3.神戸チャート

神戸チャート

過去から現在までの漁獲と資源の関係の推移を示した図で、資源の利用状況の診断に用いる。

2. 漁獲報告による 2024 年の漁獲状況

2024 年の刺網漁での 1 日あたりの漁獲量は 7 月に約 5 kg であったが、8 月に約 20 kg に増加した。しかし、2024 年の漁獲量は両月とも前年を下回った。

今シーズン（2023-24 年）の引縄釣り漁での 1 日あたりの漁獲量は、6 月までは約 2～4 kg であったが、7 月以降は約 6 kg に増加した。7 月以降の 1 日当たりの漁獲量は前シーズン（2022-23 年）を上回った。

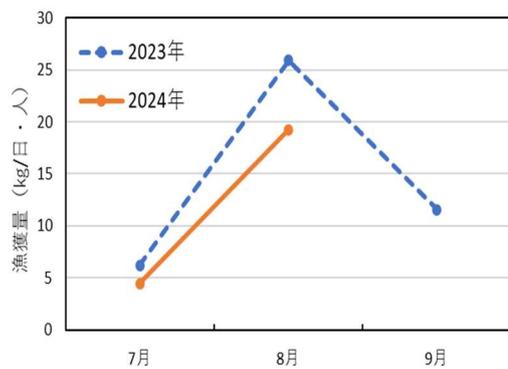


図 4.刺網漁における年別月別漁獲量

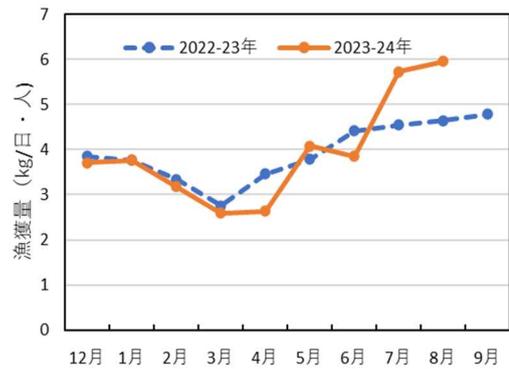


図 5.引縄釣り漁における年別月別漁獲量